



第69号

映画「ともに生きる」完成！ ---- 2P
2023 年度事業報告会 ----- 3P
2024 年度入職式
ともってどんなところ？ ----- 4-5P
ともの療育プログラム ----- 6P
連載「食べる」を育てる ----- 7P

SSTK

とも
通信

社会福祉法人
パーソナル・アシスタンス とも
〒279002 千葉県浦安市今川 1-14-52
TEL:047-304-8808
FAX:047-304-8821

3月29日に恒例の2024年度入職式& 2023年度事業報告会を行いました。

今年は法人全体をまとめた発表を行った後、ともの理念である「地域でともに生きること」を描いたドキュメンタリー映画「ともに生きる」を上映しました。この映画はご寄付と三菱財団からの助成金をいただいて制作する事ができました。今後、映画館上映など視聴の機会を設ける予定ですので、ご覧頂ければ幸いです。

令和9年、浦安市に特別支援学校が誘致されると聞いています。その説明会では、反対の声が上がり、出席した発達に遅れがある子どもの保護者の方は、大きなショックを受け、恐怖を感じたと話してくれました。見知らぬ誰かに対しては、排除することに心が抵抗を感じない…。障がいを持つ人が身近にいない、障がいのことを知らない人達は、障がいがある子どもを遠ざけることに疑問や違和感を感じないのかもしれません。

だからこそ、私たちは「ともにいる」こと、「ともに活動する」ことを大切にしたいですし、支援をする法人でありたいと思います。ともはこの20年、事業やイベントなどを通して地域の中に積極的に入って行き、障がいのない人にも、障がいがある人たちの存在が見えるように意図的に活動してきましたが、昨

年6月、今度は私たちが出かけていくのではなく、障がいのある人たちの拠点に、地域の人たちに来ていただき、一緒に活動できる場所として新しい拠点を開設しました。

「うみかぜ」と名付けたこの事業所は、地域に開かれた交流スペースとしての役割を持っています。ぜひ足を運んでいただき、「ともに生きる」ことを体験してください。

障害福祉も市場原理の要素が取り入れられ20年以上がたち、福祉サービスを提供する責任の多くは、行政から民間の私たちにゆだねられました。実践者である私たちが行う日々の支援が、福祉の在り方や価値につながっています。福祉の質は私たちが担っているということを改めて自覚しなければなりません。ご本人の意思決定に沿って、地域の一員としてともに生きるための支援をする。障がいなど、支援が必要な人は手厚く保護されるだけの存在ではないのです。

新たにともの仲間となった新入職員を含め、職員全員が日々の支援の意味をしっかりと理解し、地域福祉の向上に貢献できるように、新たに始まる2024年度も、みんなと一緒に歩みを進めていき

「パーソナル・アシスタンスとも」は
2024年度も『地域の中でともに生きる』を目指します。

とも職員 西田江里の 半生を描いた映画 『ともに生きる』が完成！

アメリティフォーラム27・バリアフリー映画祭にて
上映されました。
アフタートークには寺田靖範監督と
西田良枝理事長が登壇し参加者と意見交換を行いました。
今後は全国で上映活動を展開していきます。
今回、寺田監督が作品に込めた思いを寄稿してくれました。



20年かけて紡いできた『ともに生きる』の世界観

最初の映像作品『ともに生きる』が制作されたのは2003年。<とも>の活動に共感した学生が作った24分の短編ビデオである。その後、私が2011年に<とも>創立10周年記念式典用に20分の『ともに生きる』を制作。10年後の20周年記念式典では、集大成ともいえる78分の長編『ともに生きる』を上映。ご覧いただいた方々から「いろんな人に観てもらいたいよね」と嬉しいお言葉を頂戴し、「上映活動を展開していこう!」という機運が高まった。

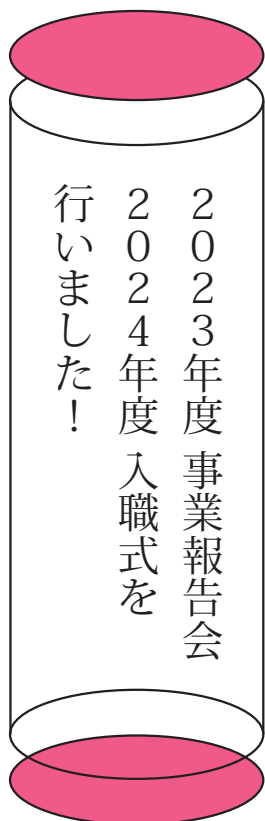
しかし、この78分は、さしずめ「理事長・西田良枝の遺言状」といったつもりで作った内容で、<とも>関係者に観ていただくことを前提としている。広く一般にご覧いただくには、<とも>をご存知ない方にも観ていただけるものにシなくてはならない。新たな『ともに生きる』制作の挑戦が始まった。

制作開始当初は、幸運にも三菱財団から助成を受けられ、追い風が吹いているかに思えたが、物語の再構築は予想以上に難しく、完成までに2年を要することとなる。編集した映像を関係者で試写して協議。必要と思われる事項を追加撮影して再編集し、また試写して・・・を

繰り返す悪戦苦闘の末、2023年12月、<とも>の職員であり、利用者でもある西田江里さんの半生を描いた91分のドキュメンタリー映画『ともに生きる』が完成した。

作中では、親子の愛、教師や級友と学び育ち合う姿、医師や看護師との連帯など、様々な人間模様を描いているが、最も注力したのは江里さんとケアスタッフの関わり。自らのからだを命を他者に委ねざるを得ない江里さんと、介助のプロとしてそのからだを受け止め命をつないでいくスタッフ。しかし、その関係性は一方的なものではなく、ケアスタッフも長く江里さんとともに人生を歩むことで精神的に深く結ばれ、それが生きる支えになっているのだった。このような関わりをみたことのなかった私は感じ入り、この体験を多くの方々と共有したいと思い、制作に打ち込んだ。結果、できあがったのがこの91分ヴァージョンである。

今年2月、本作は滋賀県大津市で開催されたアメリティフォーラム27のバリアフリー映画祭にて上映され、好評を得た。今後は上映活動に尽力してまいりますので、皆様のお力添えを賜りたく存じます。ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



これまでの取り組みを発表するとともに職員

2024年3月29日（金）、浦安音楽ホール内のハーモニーホールにて、2023年度事業報告会を開催し、ご来賓をはじめ、「とも」を支えてくださっている関係者の皆様や職員など、80名弱の方々が出席しました。

例年は事業所ごとに「事業報告会」として実践報告を行っていましたが、今年は職員が部署横断で準備を行い、季節行事や取組み、日々の支援から派生した利用者さんの成長、心や暮らしの変化に焦点をあて「2023年ともが紡いだ物語」と出して、ストーリーテリング形式でお伝えしました。

毎年、年度末に事業報告会を行っているのは、職員一人ひとりが支援の現場から離れた時間を持ち、「とも」で仕事をする意義や、同僚、利用者さん、そして目指す地域像について、自分なりに考えたり、感じたり、想いをは

せる機会になるという意味もあります。支援の現場は忙しく、時間が足りないと感じるような日常の中で、理念と実践をつなげて考えたり、法人が行っている季節行事などの意義や原点を振り返ることは難しく、私たちにとってもこの機会はとても大事なのです。

実践報告の後、2月に滋賀で開催されたアメニティフォーラム27・バリアフリー映画祭にて上映された、ドキュメンタリー映画「ともに生きる」を上映しました。

午後は、2024年度入職式を行い、3名の方が4月から新しく「とも」の仲間になりました。新入職員にとっては環境が変わり、緊張と学びの日々になるかと思いますが、先輩職員がしっかりサポートし、お互い成長しながら、利用者主体の支援を実践していきたいと思っています。

シンポジウムにて西田理事長が講演を行いました。

2024年1月27日（土）、土屋総研・株式会社土屋主催のシンポジウムにて、西田理事長が基調講演を行いました。弁護士である藤岡剛氏の基調講演「障害者が介護を受ける権利と家族の生きる権利」の後、障がいがある子どもの親と、法人を運営する立場から「地域でともに生きる」をテーマに、地域での自立生活を支援する仕事について講演しました。特に介護福祉士やヘルパーという

職種が、プロとして人の権利を守る価値ある仕事であり、また一個人としても、ともに人生を生き、成長する素晴らしさがあることなどを伝えました。

基調講演の後は、藤岡弁護士や国立市長らとディスカッションを行い、当事者の思いや地域に必要な取り組みについて話し合いました。シンポジウムは浅野史郎さんの挨拶をもって閉会しました。

ともって
どんな
ところ？

いろんな事業所があるよ！

「とも」の各事業所では、障がいのあるなし、程度や種別などにかかわらず、地域でともに生きることを支えるお手伝いをしています。

対象年齢について

0～18

全年齢

社会人

サービス対象地域

浦安市内

※浦安市在住の方

浦安・近隣

浦安市と近隣に在住の

24時間365日対応

24H

パーソナル ケアセンター

パーソナルケアセンターは、居宅介護、重度訪問介護、行動援護の3つのサービスを提供しており、特定事業所加算Ⅰを算定。24時間365日、質の高い支援を提供しています。



どんなところ？ ————— 全年齢 浦安市内 24H

医療的ケアにも対応（登録特定行為事業所）し、市内唯一の行動援護を扱う事業所として、常に質の高い支援の提供を目指し、24時間365日の体制で運営しています。

相談 支援事業所 ふあり

相談支援事業所ふありは、年齢や障がい種別を問わず、浦安市在住の方を対象とした計画相談支援を行っています。



どんなところ？ ————— 全年齢 浦安市内

障害福祉サービスを利用して、利用者さんが希望する生活を実現できるよう、利用者さんと相談員が一緒に考えながら支援計画を作成しています。医療的ケアが必要な方のご相談にも応じる事が出来る様に、医療的ケア児等コーディネーター研修修了者を配置しています。

日中 一時支援事業所 マリーナテラス

ほっとできる場所、安心できる場所、ありのままでいられる場所、仲間がいる場所がマリーナテラスで



どんなところ？ ————— 全年齢 浦安・近隣

子どもにとっても大人にとっても、家以外の安心できる居場所となる様に、また、心豊かに過ごせるように、個々に合わせた過ごし方を提供しています。夕食会や外出プログラムなど異年齢での活動や、ボッチャや調理、専門療育など、仲間と一緒に楽しいを感じることが出来る活動などを行っています。

障害児 通所支援事業所 マリーナ

個性豊かな子どもたちが、一緒に様々なことを体験し、共に笑い、共に成長し、お互いを認めあい、ありのままの自分を出せる場所がマリーナです。



どんなところ？ ————— 0～18 浦安・近隣

遊びやプログラムの中で、さまざまな経験を積み重ね、生活に役立つスキルを身につけます。医療的ケアが必要な子どもたちも一緒に活動し、1人ひとりの個性を大切にしながら、良い面を引き出せる様な、専門性の高い支援を目指しています。

障害児 通所支援事業所 ふあり

年齢や目的ごとにプログラムを設定しています。個別やグループの療育で、身辺動作や集団生活に必要なコミュニケーションの練習等を行っています。



どんなところ？ ————— 0～18 浦安・近隣

私たちは、お子さん一人ひとりの現状を見ながら、それぞれの将来にとって、どんな学びが必要か、どんな力を育てていきたいか考えて支援を行っています。一人ひとりの成長に適したプログラムを提供できるよう、ご本人やご家族の思いを大切に療育を行っていきたくと考えています。また、医療的ケアの必要なお子さんでも利用できます。

ハレレア 共同生活援助

ハレレアは「いっしょに生きる一人暮らし」を目標にグループホームを運営しています。まるで一人暮らしの様な生活を、安心安全に提供しています。



どんなところ？ ————— 浦安市内

安全で安心な一人暮らしが出来るように、交通アクセスの良い閑静な住宅地で、プライバシーを守りながら、それぞれの生活や活動を支援するためのサービスを提供しています。



就労継続支援 B型事業所 とも

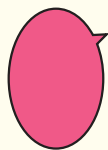
働きたい意欲はあるけれど、今現在は一般就労が難しい方に支援を提供します。働くことで工賃を得て、社会人として地域の中でその人らしく成長できるように支援します。



どんなところ？

社会人

利用者さんの働く場確保のために、2つのお店を運営しています。今川の住宅街の中にあるカフェと、東野の老人福祉センターの1階にあるお店です。利用者さんは接客や洗い物などで活躍しています。このほかにも、内職的な作業や清掃など、利用者さんは様々な作業に従事しながら、個々の目標に向かって少しずつ成長できるように、伴走する支援を大事



浦安市 基幹相談支援 センター

委託相談支援事業者として基幹相談支援センターを運営し、医療的ケア児等養成研修修了者を配置して、計画相談支援（障がい児・者）、地域移行・地域定着支援事業も行っています。



どんなところ？

全年齢

浦安市内

市内の相談支援事業者が一丸となって、障がいのある当事者や、家族に良質な相談支援を提供するために、以下の事業を行っています。①地域生活支援拠点の相談、②相談支援事業者に対する人材育成支援、③連携促進のための領域横断したネットワークづくり、④種別、年齢、手帳の有無を問わず相談を受け付ける総合相談。地域づくりと個別の相談対応も行っています。



法人本部

職員と事業所を支える後方支援を通して、支援の質を向上させ、法人全体の基盤強化と内外への情報発信などを行っています。



どんなところ？

理念の実現のため、利用者さんの暮らし向上のため、職員が心置きなく働ける環境を整えられるように、少数精鋭で法人全体を支える業務を行っています。本部職員それぞれが共通して「ともを支えたい」という想いで働いています。



訪問看護 ステーション とも

訪問看護ステーションともは、2023年5月に江戸川区から浦安に移転し、もうすぐ1年となります。病気や障がいのある方へ看護を届けることで、住み慣れた地域で暮らし続けることを支援しております。



どんなところ？

全年齢

浦安・近隣

訪問看護はかかりつけの医師から指示を頂き、ご自宅に訪問します。内容は自宅での褥瘡や傷のケア、痛みのケアなど医療ケアの実施、健康管理や服薬の管理、日常生活の支援やアドバイス、家族の支援、社会資源の活用のご相談、お看取りのケアなどを行っています。「病気や障がいがあっても住み慣れた地域で暮らし続けたい」、「人生の最期を自宅で迎えたい」想いに寄り添って看護を行っています。



浦安市 障がい者等一時 ケアセンター

障がい児・者を対象に、緊急一時預かり、短期入所事業（24時間365日）、日中一時支援事業（8:00～20:00）を行っています。



どんなところ？

全年齢

浦安市内

24H

一時ケアセンターは誰もが住み慣れた地域で暮らすために、地域のセーフティーネットとして、24時間365日、いつでも緊急時（主介護者の急病や急な葬祭など）には受け入れを行っています。一時ケアセンター内での宿泊や日帰りの預かりをする中で、利用者さんに必要な介助・介護を行っています。医療的なケアの必要な方への支援も、看護師と特定行為業務従事者が行っています。

障がい者の直接雇用

障がい者雇用を推進するために、当事者を直接雇用しています。業務は斎場売店、法人本部での広報啓発活動等があります。

浦安市斎場売店

法人本部

ともの療育プログラム

ともでは、子どもたちが楽しめる様々な療育プログラムを用意しています。それぞれのプログラムは専門講師による指導の下で行われ、子どもから大人まで継続的に受けることができます。親や友だちと一緒に遊びながら、人との関わりを覚えたり、言葉以外の方法でも自分を表現することを体験できます。



ふありっこプール

対象:3歳以上～小学校低学年
開催日時:毎月第2・4土曜日 13:00～14:00
場所:浦安市運動公園 屋内水泳プール

経験豊富な講師の指導のもと、楽しみながら体幹の筋力を鍛え、身体の動かし方を身に付け、気持ちの切り替えをしていきます。水との関りを通してお子さんの『生きる力』を高めます。情緒の安定と健康増進に繋がります。



イルカスイミング

対象:小学生以上
開催日時:第2・4土曜日 12:00～13:00
場所:浦安市運動公園 屋内水泳プール

障がいの有無や、障がいの程度にかかわらず。水泳は心身の健康に効果的です。運動の機会の少ない方も水の中では無理なく体を動かすことができます。さらに、水の中では身体の力が抜けてリラックスでき、情緒の安定に繋がります。



造形教室

対象:小学生以上
開催日時:毎月1回月曜日 16:00～18:00
場所:公民館・まちづくり活動プラザ

美術大学の先生によるプログラム。絵を描くことは、感情表現やコミュニケーションのツールとして有効です。決められたものを決められた場所に描くのではなく、個性に目をむけ、その人らしさを大切に活動しています。



ムーブメント療育

対象:未就学児から高校3年生
開催日時:毎月1回日曜日 10:20～11:50

ムーブメント療法の先生によるプログラム。大きなパラシュートなど様々な感触・感覚を体験できる遊具を使ったり、楽しい音楽に合わせて体を動かすことで身体機能の向上や心の発達に繋がります。



音楽療法

対象:小学生以上から高校生まで
開催日時:第2・4週火曜日 16:20～17:00
場所:今川記念館他

参加者の気持ちを受け止めた講師によって、みんなが奏でた音が即興で音楽になり、自分を表現することや、他所の気持ちの理解を促します。仲間との共感を通してコミュニケーション力が高まり、情緒の安定、ストレスの発散もできます。



音楽活動

対象:社会人
開催日時:第2・4週火曜日 17:30～18:30
場所:今川記念館他

参加している一人ひとりに合わせて音楽をつくる活動をします。参加する一人ひとりの思いや感情が音にのり、先生の手によって、一つの即興の音楽となり、この場でしか作れない即興の音楽を体感することができます。



ともピンポン

対象:小学生以上から大人まで
開催日時:第1・3週月曜日 17:00～18:30
場所:総合体育館 卓球室

講師が一人ひとりに合わせ、打ちやすい所に送球することで、まずはラケットに当てる、それから相手に打ち返す事を繰り返し、やがてラリーへと繋がっていきます。相手とのやり取りを楽しむこと、身体を動かす気持ち良さを大切にしています。



ダンスクラブ

対象:5歳大人まで
開催日時:第4日曜日 10:30～11:20
場所:市内の公民館

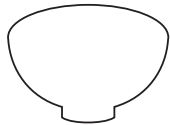
障がいの有無や年齢・性別・経験の有無に関わらず、身体感覚を使い、音楽やリズムに合わせてイメージや感情を体で表現します。自己表現やコミュニケーションのツールにもなり、表現する喜びも味わえます。



体操プログラム

対象:小学生以上から高校生まで
開催日時:第1・3土曜日 10:30～11:20
場所:市内の公民館や総合公園

本格的な用具で体操を行います。柔軟体操や3分間走や、縄跳びやボール運動、マット運動などを行います。目標設定をして、一人ひとりの達成感を大切にします。挨拶や順番を守る・待つなどの社会性も身に付きます。



「食べる」を育てる

機能発達を促す介助、機能発達程度に応じた調理形態の重要性



機能発達を促す介助の基本

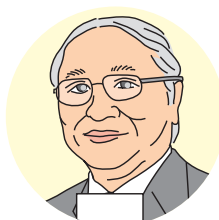
食べることに関わる主な機能は、種々の感覚に対応した動きの協調を繰り返し学ぶことで発達します。そこで安全で効果的な発達を促す学び易い介助が望まれます。食事姿勢は、介助の有無に関わらず足底が床などにつくように工夫し、座位が可能なら上肢の肘の高さにテーブルをセットして両肘を置かせます。このような摂食姿勢の下に、摂食に関与する五感（味覚、嗅覚、聴覚、触覚、視覚）から適切な感覚刺激を適度に与える介助を行います。摂食の流れに沿って解説します。①食べる動作や意欲が引き出されるよう介助内容を声掛けしながら介助を行います（聴覚）。②盛り付けられたトレーを視覚野において、食物を視覚確認しながら口に運びます（視覚）。③口に取込ませる前に鼻先で香りを感じさせて（鼻先香）から捕食させます（嗅覚）。④食物の物性認知が鋭敏な口腔の前方形の口唇、前歯をできるだけ使って食物を食具から摂り込ませるため、スプーンなどの食具

を下唇の上に載せて触覚認知させながら口が開くのを待って食具を入れ、上下口唇が閉じてからスプーンを引き抜き捕食させます（触覚）。⑤口に摂り込まれた食物と混和して味覚を得やすいよう十分な唾液の分泌を促すために顎の開閉運動（もぐもぐの動き）を促します（味覚）。

機能発達程度に応じた調理形態

食べる機能の発達を促すためには、個々の食べる機能の発達程度に応じた調理形態の食事が必要です。発達過程は嚥下しやすいペースト食、舌で押しつぶせる軟らかい固形食、咀嚼を必要とする固形食に分けて現状の機能に応じた調理形態を主とし、次の発達段階の形態に少しずつ移行していくことで発達を促します。噛みつぶす機能が未発達の段階で普通食を細かく刻んで与えても丸飲みして食べているだけで咀嚼機能は育ちません。食物を単に栄養摂取を目的にした「食べる」だけでなく食に伴う「味わい、寛ぎ」なども感じられるよ

向井 美恵
ムカイ 口腔機能研究所



向井先生は、昭和大学歯学部教授や、同大学口腔ケアセンター長を歴任された「摂食嚥下機能の発達とリハビリテーション」における第一人者です。数多くの研究成果を残され、同大学より名誉教授の称号を受けています。障がいのある子どもや大人に対する摂食指導の経験も長く、現在「とも」の嘱託医として、法人主催の研修会や個別療育プログラムなどで、お力添えをいただいています。著書は「小児の摂食・嚥下リハビリテーション」など多数。

年間イベント紹介

ともが「浦安ともに歩む会」だった頃から続くお花見。利用者さんご家族、地域関係者やボランティアさんと職員たち。みんなが咲き誇る桜の下で楽しく過ごす春の恒例行事です。準備やお料理、片付けなどは参加者が協力して行います。

手作りおにぎり、お菓子の差し入れ、ビールにおつまみ、子どもたちはジュースで乾杯…。ゲームをしたり、写真を撮ったり、自然と笑顔がこぼれる春の集いから「とも」の新年度は始まります。



お花見

クリスマス会

冬の恒例行事「クリスマス会」ではプロを招いての演奏やパフォーマンスで盛り上がります。プレゼント交換や「餅つき」も催され、つきたてのお餅や豚汁を食べながら、子どもから大人まで本物の体験が出来るイベント





「とも」を支えてくださる方々



社会福祉法人パーソナル・アシスタンスともご寄付のお願い

社会福祉法人となっても、その財源は今までと何も変わらない現実です。皆様からの寄付は現在行っている社会福祉事業に役立させていただけます。皆様のご協力をお願いいたします。なお、「とも」への寄付は、以下の税制上の優遇措置があります。

- ◆個人の方は、所得税に係る「寄付金控除の対象」になっています。
- ◆法人の場合は、一般の寄付金とは別枠で損金の額に算入することができます。
- ◆相続や遺贈によって受けた財産を寄付した場合は、その分は相続税の対象外となります。

寄付金
振込先

銀行名：京葉銀行 新浦安支店 口座番号：普通 5429331
口座名義：社会福祉法人パーソナル・アシスタンスとも
理事長 西田良枝

ご利用案内

【個別のケアサービス】

- パーソナルケアセンター
 - ・障害福祉サービス（居宅介護・重度訪問介護・行動援護）
 - ・介護保険サービス（訪問介護・介護予防訪問介護）
 - ・移動支援事業・浦安市通院ヘルプサービス事業
 - ・パーソナルケアサービス（制度外の支援）
 - ・介護保険外生活支援サービス
- パーソナル・アシスタンスとも居宅介護支援事業所【休止中】



【緊急時の宿泊も可能な支援】

- 浦安市障がい者等一時ケアセンター事業（指定管理者）



【子どもの発達支援】

- 障害児通所支援事業所 ふあり
（児童発達支援／放課後等デイサービス）
- 障害児通所支援事業所 マリーナ
（児童発達支援／放課後等デイサービス）



【日中一時支援事業】

- 日中一時支援事業所 マリーナテラス
- 日中一時支援事業所 とも



【様々な療育事業】

- イルカスイミングクラブ ● 音楽療法 ● ムーブメント療育
- 卓球教室 ● 造形教室 ● ダンスクラブ ● 体操



【日中活動・就労・機能訓練・余暇等の支援】

- 浦安市斎場内売店運営
- 就労継続支援 B 型事業所とも
 - ・キッチンカフェほっぷ運営
 - ・カフェテラスゆう（浦安市老人福祉センター内カフェ）運営
- ハレレア 共同生活援助（グループホーム）



【訪問看護事業】

- 訪問看護ステーションとも



【生活支援のための相談】

- 『浦安市基幹相談支援センター』（浦安市より受託）
 - ・指定一般相談支援事業（千葉県指定）・指定特定相談支援事業（浦安市指定）・指定障害児相談支援事業（浦安市指定）
- 「相談支援事業所ふあり」指定特定相談支援事業（浦安市指定）
 - ・指定障害児相談支援事業（浦安市指定）



【福祉機器等の貸与・販売】

- 福祉用具のレンタルや販売、日生具、補装具など【休止中】

連絡先のご案内

事業名	電話番号	メールアドレス
● パーソナル・アシスタンス とも	047-304-8808 tomo@patomo.jp
● パーソナル・アシスタンス とも（予約専門）	047-304-8811	
● 障害児通所支援事業所 ふあり	047-304-8860 tomo-huali1@patomo.jp
● 障害児通所支援事業所 マリーナ	047-304-8815	
● 相談支援事業所 ふあり	047-304-8860 tomo-huali2@patomo.jp
● 日中一時支援事業所 マリーナテラス	047-304-8815	
● キッチンカフェほっぷ	047-304-8820	
● ハレレア 共同生活援助（グループホーム）	047-304-8808	
● 浦安市基幹相談支援センター（相談窓口）	047-304-8822 tomo-soudan3@patomo.jp
jp	
● 浦安市障がい者等一時ケアセンター	047-350-8771	
● 訪問看護ステーションとも	047-304-8808	
● パーソナル・アシスタンスとも	070-5561-8808	

ボランティア随時募集

◆療育に関わるボランティア

イルカスイミングクラブ、生活塾、造形教室、音楽療法、ムーブメント療育、卓球教室のサポート

◆フリマ・イベントでのお手伝い、ケアルームのおもちゃ消毒など

編集人：社会福祉法 パーソナル・アシスタンスと
〒279-0022 千葉県浦安市今川 1-14-52

編集後記 映画報告会や入職式など、コロナ以降行えなかったイベントや、ともの総カタログとしての各事業所や療育の紹介など、ボリュームの多い内容となりました。デザインを全体的に変え、より皆さんにお伝えできる内容にしていますので、今後ともよろしくお

FAX 番号 047-304-8821

ホームページ www.patomo.jp

